



平成 20 年 5 月 23 日

各 位

長野県伊那市西箕輪 2148 番地 188
 株式会社イナリサーチ
 代表取締役社長 中川博司
 (コード番号: 2176)
 問い合わせ先: 取締役統括本部長 米田公生
 電話番号 0265(73)6647

平成 20 年 3 月期の業績見込み及び平成 21 年 3 月期の業績予想について

平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)における当社の業績見込み及び平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の当社の業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

【連結】

(単位: 百万円、%)

項目	決算期	平成 21 年 3 月期 (予想)			平成 20 年 3 月期 (見込み)			平成 19 年 3 月期 (実績)	
			構成比	前期比		構成比	前期比		構成比
売上高		3,832	100.0	117.9	3,249	100.0	113.6	2,860	100.0
営業利益		506	13.2	128.7	393	12.1	172.9	227	8.0
経常利益		404	10.6	123.2	328	10.1	162.3	202	7.1
当期純利益		233	6.1	132.8	175	5.4	189.7	92	3.2
1 株当たり当期純利益		7,657.72 円			7,310.36 円			3,854.23 円	

【単体】

(単位: 百万円、%)

項目	決算期	平成 21 年 3 月期 (予想)			平成 20 年 3 月期 (見込み)			平成 19 年 3 月期 (実績)	
			構成比	前期比		構成比	前期比		構成比
売上高		3,832	100.0	117.9	3,251	100.0	113.5	2,865	100.0
営業利益		488	12.7	116.5	419	12.9	178.5	234	8.2
経常利益		388	10.1	103.9	373	11.5	188.8	197	6.9
当期純利益		221	5.8	101.4	218	6.7	-	309	10.8
1 株当たり当期純利益		7,282.40 円			9,110.10 円			12,901.15 円	
1 株当たり配当金		1,600.00 円			1,100.00 円			500.00 円	

(注) 平成 19 年 3 月期(実績)及び平成 20 年 3 月期(見込み)の 1 株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しており、平成 21 年 3 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株数(5,800 株)及び新株予約権(635 株)を含めた予定期末発行済株式数 30,435 株により算出しております。

ご注意: この文書は当社の平成 20 年 3 月期業績見込み及び平成 21 年 3 月期業績予想に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)をご覧ください。投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

[平成 21 年 3 月期の業績予想の前提条件]

(a) 売上高

(医薬品非臨床試験事業)

売上の多くを占める安全性試験・安全性薬理試験は製薬企業の旺盛な研究開発意欲を背景に引続き堅調な受託環境にあります。平成 20 年 9 月に業務開始となる新棟は当初よりフル稼働が見込まれ、第 4 四半期からの売上増加に貢献することが期待できることから、医薬品非臨床事業全体の売上増加を予想しております。また、薬効薬理試験、依存性試験及び平成 20 年 3 月に特許登録となった A V ブロックモデルといった、当社が得意とし、収益性も高いサル試験の拡販も積極的に進めてまいります。

(その他事業)

環境部門は第 1 四半期に売上となる工事案件も含めて複数の大型案件の引合を抱え、売上増加はほぼ確実と考えております。食品部門も前期並みの売上計上は期待できることから、その他事業全体の売上も増加を見込んでおります。

(b) 売上原価

(原材料費)

医薬品非臨床試験事業においては、売上の増加に伴う原材料費の増加を見込んでおります。

(仕入高)

その他事業の環境部門においては、売上の増加に伴う仕入の増加を見込んでおります。

(外注加工費)

医薬品非臨床試験事業は売上の増加に伴う、顧客指定外注への委託高の増加を見込んでおります。

(労務費・賃借料・消耗品費・減価償却費・水道光熱費)

医薬品非臨床試験事業は新棟の業務開始のための人員増、設備の増設、備品の購入を行うことから、労務費、社宅と機械の賃借料、消耗品費、減価償却費及び設備稼働に伴う水道光熱費が上昇すると見込んでおります。その他事業は昇給による労務費の増加を見込んでおりますが、賃借料、消耗品費、減価償却費、水道光熱費は前期並みを予想しております。

(その他)

その他の大半を占める修繕費を初めとして、大きな変動はありません。

(c) 売上総利益

医薬品非臨床事業の売上総利益は、売上高の増加に伴い前期比で増加する事を見込んでおりますが、下期の新棟の業務開始に先駆けて先々から必要な人員・設備の手当を行い、教育を実施する必要があることから、売上総利益率については一時的に前期と比較して低下する事を見込んでおります。その他事業は売上の増加による売上総利益の増加を見込んでおります。

(d) 販売費及び一般管理費

(人件費)

売上増により業務量は増加いたしますが、間接業務の効率化により人員総数は現状維持を見込んでおります。また、退職者の若手による補充やパート社員の活用を進めており、3%の昇給を行いますが、前期との比較では医薬品非臨床事業、その他事業ともに人件費は減少する見込みです。

(租税公課・支払手数料・広告宣伝費)

医薬品非臨床試験事業及びその他事業において、上場により株券印紙代、監査費用、株式事務代行費、I R 費用が定常的に増加すると予想しております。

(旅費交通費)

その他事業の中で新規事業化を目指している臨床試験部門において、米国市場での営業を強化することから出張費用の増加を見込んでおります。

(研究開発費)

今後の事業の拡大・成長を目指した研究開発を推進しますが、ターゲットを絞り込んだ活動を行うことにより、ほぼ前期並みの費用に収まるものと見込んでおります。

(e) 営業利益

上場により販売費及び一般管理費が増加しますが、売上総利益が前期比で増加する見込みであり、営業利益も前期に比べ増加するものと予想しております。

ご注意： この文書は当社の平成 20 年 3 月期業績見込み及び平成 21 年 3 月期業績予想に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)をご覧ください。また、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

(f) 経常利益

営業外費用として、上場関連諸費用 35,560 千円を見込んでおりますが、営業利益の前期比増加に伴い、経常利益も前期に比べ増加するものと予想しております。

この結果、売上高は 3,832,590 千円、営業利益は 506,943 千円、経常利益は 404,582 千円、当期純利益は 233,063 千円となる見込であります。

以 上

ご注意： この文書は当社の平成 20 年 3 月期業績見込み及び平成 21 年 3 月期業績予想に関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
投資を行う際は、必ず当社が作成する新株式発行並びに株式売出届出目論見書(並びに訂正事項分)をご覧ください。また、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。